



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

### 官民連携を推進する復興コーディネーター

藤沢 烈

(

ふじさわ れつ

)

一般社団法人RCF 代表理事



#### ○ 登録者情報

##### 所在地

東京都港区

##### 略歴

1975年京都府生まれ。一橋大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立し、NPO・社会事業等に特化したコンサルティング会社を経営。東日本大震災後、RCF復興支援チーム(現・(一社)RCF)を設立し、情報分析や事業創造に取り組む。企業や省庁・地方自治体のディスカッションパートナーとして、ひと・まち・産業の復興事業創造や事業推進に伴走してきた知見を活かし、近年は東北以外の地方創生や多様な社会課題にも取り組みを広げている。

## 著書・論文等

- 著書:『社会のために働く 未来の仕事のリーダーが生まれる現場』(講談社)  
『人生100年時代の国家戦略—小泉小委員会の500日』(東洋経済新報社)  
共著:『東日本大震災 復興が日本を変える—行政・企業・NPOの未来のかたち』(ぎょうせい)  
『ニッポンのジレンマ ぼくらの日本改造論』(朝日新聞出版)  
『「統治」を創造する新しい公共/オープンガバメント/リーク社会』(春秋社)

## ○ 官民連携を推進する復興コーディネーター

### 取組の内容

2011年4月、震災復興のための調査を行う団体として発足。  
現在は復興事業の立案や復興関係者の調整を行う「復興コーディネーター」として活動。  
被災個人・事業者等に対して、仮設住宅支援・コミュニティ支援・水産加工業支援・人材マッチング支援等、被災地域に必要な事業を行政、企業等と共に推進。

### 実績

#### ■ プロジェクト実績

##### 「釜石復興まちづくり推進プロジェクト」

- ・取引先: UBSグループ
- ・関連団体: 岩手県釜石市
- ・対象地域: 岩手県釜石市
- ・概要: 住民主体のコミュニティ活動活性促進。復興支援員(通称:釜援隊)制度の導入企画支援
- ・支援対象規模

釜石市の10集落:人口8,325人

内訳: 唐丹湾周辺6集落(1,813人)と鶴住居・箱崎・両石・東部4集落(6,512人)

- ・復興支援員:13人
- ・現場支援員は釜石の行政・NPO等10団体で活動  
(産業・観光/コミュニティ・まちづくり/生活・福祉)

##### 「福島県双葉町復興支援員」

- ・取引先: 福島県双葉町
- ・対象地域: 福島県
- ・概要: 復興支援員に導入による双葉町コミュニティの再構築事業
- ・支援対象規模

双葉町民(福島県内外):人口6,942人

- ・内訳: 福島県内(3,727人)、福島県外(3,215人)
- ・復興支援員:7人(H26年度10名に増員予定)
- ・支援員は双葉町役場内(いわき、郡山、埼玉)で活動
- ・聞き取り調査、交流、協働促進、ネットワーキング、情報発信体制の強化、コミュニティ情報の発信

##### 「仮設住宅支援モデル事業」

- ・取引先: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- ・関連団体: 公益財団法人日本財団、いわて連携復興センター
- ・対象地域: 岩手県大船渡市、釜石市、大槌町
- ・概要: 仮設住宅における生活再建・コミュニティ支援
- ・支援内容

福島県内で2015年度までに設置される、復興公営住宅4890戸のコミュニティ支援

同復興公営住宅に配置される交流員(100戸に2名程度配備予定)制度の企画及び実施面でのサポート

##### 「イノベーション東北」

- ・取引先: Google株式会社
- ・対象地域: 宮城県、岩手県、福島県
- ・概要: Google Apps for Businessを被災地の企業や団体を対象に1年間無償提供し、地域のコーディネーターと全国のサポーターをクラウドマッチングにより結びつけ、ビジネス復興を支援
- ・実績

マッチング件数:294件

プロボノサポーター数:424名

サポーター企業・団体数:25団体

#### ・支援内容

現地事業者のニーズに応じて、全国のサポーターが、Webサイト作成、広報PR、マーケティング・販路開拓などの支援を行いました

##### 「新しい東北・WORK FOR 東北」

- ・取引先: 復興庁、日本財団
- ・対象地域: 宮城県、岩手県、福島県
- ・概要: 被災地が必要とする人材を、企業等から現地に派遣することを目的とした復興庁のプロジェクト
- ・実績

約20名をマッチング、民間企業から市町村へ人材を派遣

## 工夫した点や苦勞した点

大きく3点あります。

### 1. 支援地域におけるチームマネジメント

目標設定やリソースの調達をフォロー、組織として対応し、連携して問題を解決する。

### 2. 地域と東京の2拠点制

地域と東京双方で、人的資源、情報の不足を解消しフォローを行う体制づくり。スピーディに変化にも対応できる。

### 3. 地域支援員の現地化

現地に短期ではなく、中長期で関わり、地域のキーパーソンとの連携、関係作り、真の課題に対峙し、現地で足りないリソースを補う。

## ひとことPR

一般社団法人RCFは、主に東北で、まちづくり、産業創出、教育、人材マッチング、リサーチ、情報発信など、多種多様なプロジェクトを組成し、実行する「復興支援コーディネーター」として関わり、現地ニーズに即した課題解決に尽力しています。

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

一般社団法人RCF	<a href="http://rcf311.com/">http://rcf311.com/</a>
藤沢烈 BLOG	<a href="http://retz.seesaa.net/">http://retz.seesaa.net/</a>

### 連絡先

メールアドレス	info〔アットマーク〕rcf.co.jp	その他	
---------	-----------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。